

【フッ化水素酸】

名 称	1 化学名	フッ化水素酸(Hydrofluoric Acid)
	2 化学式	HF (分子量 20.01)
	3 別名	フッ酸
法規・規格		JIS K1405-57(工業品), JIS K8819-92(試験), ASTM E271-68 消防法; 30kg以上の貯蔵は届け出を要する物質 毒・劇物取締法; 毒物 大気汚染防止法; 有害物質 労働安全衛生法; 特定化学物質及び名称などを表示すべき有害物質 海洋汚染防止法; 有害液体物質
物 理 性 的 質	(1) 外観・状態	無色の液体で極めて有毒。各種の濃度のもの有。
	(2) 臭い	刺激臭を有する。
	(3) 比重・pH	0.987, 弱酸
化 学 的 性 質	(1) 腐食性	腐食性が激しい。多くの金属と化合してフッ化物を生じガラスなどの珪酸物を侵食する。
	(2) 爆発性	爆発性は無いが、腐食により発生した水素が爆発することがある。
	(3) 引火性	引火性無し。
人体への影響		目、鼻、のどを強く刺激する。蒸気を吸入すると気管支、肺、のどが侵され、一時的に声が出なくなる。肺は肺水腫を起こし、重いと呼吸麻痺を起こして死亡する。慢性中毒は全身衰弱をきたす。
応 急 処 置	(1)皮膚に接触した場合→シャワーまたは多量の流水で洗い医師の手当を受ける。	
	(2)目に入った場合→流水で十分洗い、眼科医に見せ処置してもらう。	
	(3)吸入した場合→新鮮な空気のある場所に移し安静に努め、直ちに医師の手当を受ける。	
取扱上の注意		腐食性があるので取り扱う際には耐薬品用ゴム手袋・保護眼鏡・顔面シールド・酸性ガス用防毒マスク・呼吸用保護具等の保護具を着用すること。
保管上の注意		密栓し、通風の良い冷所に保管する。
漏れた場合の処置		*こぼれたものには触れない。 *水噴霧を行う。 *砂などの不燃性吸収剤で取り除き水で洗い流す。 *廃棄する場合は多量の消石灰水溶液に、攪拌しながら少量ずつ加えて中和し、沈澱ろ過して埋立て処分する。